

神田通信

◆四月六日、桜満開。コロナ禍でも物価高でも桜は咲く。でも平和の桜が一番いい。(藤森)

◆先月、桜の開花が早まっていると書いたが、今春は入学式まで待ってくれた。一方、造幣局の桜の通り抜けは満開を待たず予定どおり終了。花に一喜一憂するのも平和なればこそ。(高尾)

◆先週、福寿草が咲き、今週はクロッカスが満開となりました。花咲く春の到来です。ここまでは嬉しいのですが、予報では桜の開花はかなり前倒しになるとか。今年も夏の暑さが心配です。(木村)

◆歌の楽しみは、毎月の地中海があるからです。心を表現するのが面白いのです。会員の通信です。歌の原点のような、さらに光る言葉です。(磯田)

◆昨年の九月に社内異動し、その辛さを歌で吐露してしまっ

たが、半年経ち大分楽になった。ご心配おかけしました。(玉井)

◆四年を過ぎてパソコンのご機嫌が近頃悪い。止まることのない進化についていけない年齢になったが、ハイスベックを目指すしかないのかな。(成彦)

◆東京歌会に参加される方は、本号(6月号)を忘れずにご持参ください。後日、出席者の名簿などお知らせします。お会いするのも楽しみにしつつ。(和美)

◆筒香がDNAに戻ってきた！横浜スタジアムで筒香の放つホームランを見る日が再び来るとは！ビールを飲みながら観戦する日が待ち遠しい。(藤田)

◆パン屋からの帰り道、バンジーの花壇に光を撒き散らしたように咲くナズナの花。まもなく小学生の孫が春の七草を唱えながら帰ってきた。(楡垣)

◆四月十二日(金)、今号の編集作業、関根和美・磯田・玉井・久我の四人で。玉井さんは半日休暇をとって駆けつけてくれて

います。隣のテーブルでは、会計の三人(永塚・大浪・泉)が頭を寄せ合って締め作業をしていました。原稿用紙の大量注

文に対応して荷造りをしているのは藤森さん。玉井さんと二人で重い包みを抱えて宅急便屋さんへ。……といったふうで、なかなかに賑やかな本社でした。

◆作業日の前にも何日か原稿整理のために本社へ。原稿以外の郵便物への対応、会計処理等のために本社へ。お互いに連携を取りながら地中海の実務作業をおこなっています。

◆五月号が出来上がったのは四月十日でした。翌日から発送作業に入っています。順次発送されますので、皆さんのお手元に届くには一週間くらいかかって

いるようです。◆このところ「地中海」が届くのが早いと驚きの声。それは、編集・校正・印刷所と作業が滞りなく進められているからです。その前に皆さんが締切(毎月十日)を守ってくださって

るからです。ありがとうございます。これからもよろしくお願います。これからもよろしくお願います。

◆さて、今号は……。「夏のアンソロジー」に、現代短歌フェスティバルに参加された坂上直美さんと藤岡美幸さんの報告、藤森巴行さんの「送風塔」等々。「送風塔」はどなたでも自由に原稿をお寄せいただける広場です。担当の関根和美までお送りください。

◆シリーズ「第一歌集を読む」は、二年目に入っています。今月は、牧雄彦歌集「誰もるぬ部屋」。牧さんは、親子二代の地中海会員にして大阪文社社長です。巻頭二十首詠の玉井綾子さんも親子二代。地中海の歴史の厚みを感じさせられます。(久我)

● 本社編集日(予定) ●

- 6月12日(水)
- 7月12日(金)
- 8月16日(金)
- 9月13日(金)

クリップ

■入会届・退会届について

葉書に、①氏名(ふりがな)
 ②住所 ③電話番号 ④生年月日 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応しきれませんので、ご了承ください。

■会費納入について

会費は、半年分、または一年分を前納してください。各欄の月額は次の通りです。

- ・ A欄 二五〇〇円
 - ・ B欄 二〇〇〇円
 - ・ C欄 一五〇〇円
 - ・ 購読 一五〇〇円
- 二十歳未満の学生は五〇〇円です。(若い人たちは是非ご勧誘ください)

00160・4・179569 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳をお

書きください。支社・グループでまとめて納入していただける幸いです。

■原稿用紙のご注文について

一冊一五〇円。それに送料がかかりますので、まとめてのご注文がお勧めです。本社までご連絡ください。こちらから発送する際に振込用紙を同封いたしますので、代金はそれを使って振り込んでください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊二二〇〇円。ただし、七〇周年記念号については、一冊二二〇〇円です。会費と同じ「地中海社」の口座にお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただけます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求くだ

さい。葉書に住所氏名の他に、

- ①歌集名(未定の場合には仮題でも) ②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した叢書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。電話はありますが、常駐する者がおりませんので、誰かが本誌で作業している時にしか通じません。急を要する場合には、

・藤森：☎ 090-8301-6423

・久我：☎ & FAX 043-241-7925
 までご連絡ください。

■本誌の発送について

毎月、藤森巳行が宛名シールを作成し、印刷所から発送してもらっています。万が一、届かなかった場合には、担当の藤森までご連絡ください。



地中海規約（一部抜粋）

◆ 組織

- 1 本社を下記の住所に置き、業務を遂行する。
東京都千代田区神田錦町2-5-9 神田カトランビル 402号
- 2 地中海はグループ制を採る。
- 3 すべての会員はいずれかのグループに所属する。
（個人で入会された方を「海グループ」の所属にさせていただきます。）
- 4 グループ長は所属会員の作歌を指導し、会員の作品を取りまとめ、会費を一括して本社に納入する。
- 5 各支社・グループに副支社長・副グループ長、会計・事務担当会員を選任し、各支社・グループ長を補佐することができる。
- 6 会員の入退会は、その都度グループ長が本社に届け出る。
- 7 会員の区分は下記のとおりとする。
 - ・A会員（いわゆる同人）
 - ・B会員（いわゆる準同人）
 - ・C会員（上記以外の会員）
 - ・D会員（20歳未満の学生等）
 B・Cの区分はグループ長が決める。A会員への昇格についてはグループ長の推薦により運営連絡会が決定する。
- 8 理由なく会費を1年以上滞納した場合は会員の資格を失う。

◆ 会費

グループ長、またはグループの会計は、所属会員の会費を一括して本社に納入する。

- 1 3ヶ月以上を振替にて前納すること。領収書は発行せず、「振込票兼受領証」をこれに当てる。（半年分、または1年分を前納していただくと幸いです）
- 2 会計年度を3月とし、暦年計算（当年4月～翌年3月）で取りまとめる。
- 3 会費は、月額下記のとおりとする。
 - ・A…2500円 ・B…2000円 ・C…1500円
 - ・D… 500円（20歳未満の学生等） ・購読…1500円
- 4 退会、または死去者等については、残余会費分を送本し、返金はしない。

◆ 原稿の書き方

- 1 原稿用紙は200字詰めとし、本社作成のもの、またはそれに準ずるものを使う。
- 2 楷書で丁寧に書くこと。名前の読みを欄外にカタカナで書くこと。
- 3 仮名遣いについては、新・旧の表示を原稿用紙の右下に明記すること。
- 4 作品の題は簡単につけ（Cは無題）、名前の下に所属グループ名を略称で書くこと。
- 5 A・B・Cの区分を原稿用紙の右上に朱書き、または符号に○印をつけること。
- 6 作品数は、A…7首、B…5首、C…3首までとする。
- 7 作者ごとに原稿の右上をホチキスでとめること。
- 8 原稿の締切は、毎月10日（本社着、厳守）。
- 9 毎年12月号は自選号とする。（前年の11月号～当年の10月号の作品から）